



【2012-2013年度RIテーマ】

FUJIEDA SOUTH ROTARY CLUB

藤枝南ロータリークラブ会報

例 会：毎週金曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL：054-641-3321
 事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040
 E-mail: club1991@fujieda-rotary.org

会長：村松 章隆 副会長：早川 清人 幹事：内山 淑夫 副幹事：松浦 正秋

第1000回



<http://www.fujieda-rotary.org>

- ソング 君が代・奉仕の理想
- ソングリーダー 望月 誠君

会長報告 村松 章隆君

皆さん、こんばんわ！ 本年度第2代目会長を務めさせていただきます。村松章隆です。幹事には、とてもバイタリティーのある又国際経験豊富な内山会員です。共に、よろしくお願ひします。

昨年度は、伴野会長はじめ、委員長、小委員長さん、会員の皆様には、大変御世話になり、ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。お陰様で無事幹事の役を務めることができました。今思うことは、歴代の会長・幹事を経験されました諸先輩には、改めて、敬意を表したいと思っております。特に6月から7月の初めは、忙しく事業が集中して、又、退会者が出たりして大変、御苦労されたと感じております。

先程、例会の始まる前に初めての理事会を開会致しました、後ほど、内山幹事より報告をさせていただきますが議題が多くてちょっとパニックしています。

さて、一昨日は藤枝ロータリークラブの例会に内山幹事と共に出席をして、挨拶をさせていただきました。その時に話をしましたが、人生において予期せぬ事が偶にあります、私の場合は、幹事から会長、初めての例会が1000回目という記念すべき日になろうとは、思ってもいませんでした。

今日こうして、1000回記念例会を夫婦夜間例会の形で開会されるのは、デビュー戦にしては、華やかでうれしく思っております。うれしい誤算です。

新年度早々より、いろいろ準備していただいたクラブ運営・親睦委員長の高杉会員、飯田小委員長、委員会のメンバーに感謝申し上げます。

本年度の運営といたしましては、初代会長の富

澤会員が提唱しました「エンジョイ・ロータリー」を引継ぎ、更に楽しくジョイフル(うれしい・喜びに満ちた)に運営ができれば幸いに思っております。その為には、会員同士がお互い理解しあい、コミュニケーションが必要だと思ひます。その手段としては、委員会を開いて意見交換をし、飲み会、ゴルフ、マージャン、ツーリング、ウォーキングなど同好会を通して深めればと思ひます。事業についてはクラブ計画書を読んでいただければと思ひます。

私も還暦を迎えて、又会員の皆様も年々高齢化してきました(ご婦人も!)若い人もいますが、体調には、くれぐれも気をつけて無理をしないよう、好きな事をして、余生を共に楽しみましょう。結びに、会員の皆様、ご婦人のご健勝、を祈念申し上げて挨拶とさせていただきます。

セレモニー(親睦会)会長挨拶
 皆さん、今からは、1000回例会を振り返って、想いで話やら、楽しいひと時をすごしてください。素敵な歌のプレゼントが用意されております。では、ごゆっくりご歓談してください。

出席報告

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
33 / 41 80.48%	36 / 42 85.71%

- (1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)
 池谷君 伊藤彰君 小林君 玉木君
 樽井君 藪崎君 藁品君

- (2)メイクアップ者
 藁品 元行君(焼津南)

ビジター

梶 明天君(静岡) 古桑 幸郎君(焼津南)
藪崎 正義君(焼津南) 小野田 吉晃君(焼津南)
大長 昭子君(藤枝) 松葉 隆夫君(藤枝)
杉山 静一君(藤枝) 新島 義之君(藤枝)

スマイルBOX 望月 誠君

- 皆様1年間よろしくお願い申し上げます。
村松 章隆君
- 幹事にひきつづき会長、楽しい1年にして下さい。次男の同級生の村松大輔君がサッカーでオリンピックに出ます。応援よろしく。
稲葉 俊英君
- 長男が先週アメリカ留学から帰国しました。次男がラグビーの東海地区の代表に選ばれました。
松浦 正秋君
- 誕生日プレゼント、ありがとう!!
富澤 静雄君
- 参加者一同より

スマイル累計額 73,732円

2011-12年間皆出席表彰



朝比奈 潔君 飯田 敏之君 漆畑 雄一郎君
桑原 茂君 小池 吉久君 小山 明良君
鈴木 徹君 玉木 末雄君 富澤 静雄君
伴野 正明君 松浦 正秋君 望月 誠君
森竹 正晃君 山田 壽久君 若林 秀典君
渡邊 博文君 渡邊 芳隆君

1000回皆出席表彰



朝比奈 潔君 小池 吉久君 小山 明良君
富澤 静雄君 若林 秀典君

会員卓話

『第1000回記念例会に寄せて』



富澤 静雄君

第1000回の記念すべき例会に時間を頂戴し大変に光栄であります。振り返って見ますと創立から現在まで、あっという間の時間でした。この間、楽しい思い出は沢山あります。

創立1周年記念「韓国旅行例会」5周年の「アメリカ旅行」「ロサンゼルス国際大会参加」「GSE・交換留学生の受入れ」環境をテーマにした事業、その他全員で行う各種事業などなど思い出は尽きません。その中でも特に創設時の思い出があります。クラブが消滅している現在とは違い南クラブ発足時は「拡大・増強」が大きく叫ばれていた時代です。スポンサークラブ藤枝ロータリークラブの時の水野義猛会長がバスト会長などの反対を押し切り「拡大」(新クラブ創設)を決断したのであり、これが藤枝南ロータリークラブの始まりでした。その後22年経過、村松章隆会長が就任した本日の例会は感慨深いものがあります。もう一つは、このクラブの創設の立役者(南クラブ設立特別代表)の小林治助氏の事です。小林氏は例会無欠席で何十年奉仕したのだろうか、晩年お話を聞かせて頂きました。このように例会皆出席できるのは、「健康」があればこそ、とのこと

でした。その健康には3つあります。一つは「自分自身の体の健康」二つには「会社事業の健康」三つには「家族の健康」と仰られていたことを鮮明に覚えております。本日の5名の「1000回例会皆出席」の方もそれぞれ「すべてに健康」であったのです。その会員に対し心より敬意を表します。小生も、第5分区代理までも務めさせて頂けたのは、他ならぬ南クラブの会員諸兄のおかげであり、楽しく活動できたことに感謝申し上げ、第1000回例会に寄せての言葉とさせていただきます。

藤枝南ロータリークラブ 1000 回記念例会





(担当 / 池ヶ谷君)